

特別委員 会からの 報告

下川町森林バイオマス 地域熱電併給事業調査 特別委員会からの調査 結果報告

平成29年3月17日第1
回定例会最終日の本会議
で設置された「下川町森
林バイオマス地域熱電併
給事業調査特別委員会」
の報告が、6月14日の定
例会初日に本会議で行わ
れました。内容の要約を
掲載いたします。

【調査特別委員会の見解】 着眼点

(1)目的と手段の再確認
持続可能な社会の構築
が目的であり、再生可能
エネルギーによる（環境
面）エネルギーの完全自

開催月日	内 容
4月5日	第1回特別委員会
4月12日	バイオマス産業ネットワーク研究会講演会出席 (奈須副委員長、春日委員)
4月13日	群馬県上野村森林バイオマス熱電施設視察 (奈須副委員長、春日委員)
4月18日	道内視察：紋別バイオマス発電株式会社
4月19日	道内視察：津別町ペレット協同組合
4月24日	第5回町民説明会・意見交換会出席(町主催)
4月26日	第2回特別委員会
5月16日	第3回特別委員会
5月22日	第6回町民説明会・意見交換会出席(町主催)
5月29日	第5回井戸ばた会議
5月30日	第4回特別委員会
6月7日	第5回特別委員会

給を通して（経済面）持
続可能な社会のモデルと
して（社会面）木質バイ
オマスエネルギーを手段
とする。

現行示されている計画
は、FIT制度のもと未
利用材を活用した木質ペ
レットを原料とするガス

化小型熱電併給ユニット
11台連結による発電と熱
供給である。

(2)効果の検証

①環境面の検証

基本的に木質バイオマ
スエネルギーはカーボン
オフセットで環境に有効

な一方、森林への影響（F
SC認証林以外から調達
することがあれば）、CO
²の増加（域外から大量輸
送）などの懸念材料があ
る。

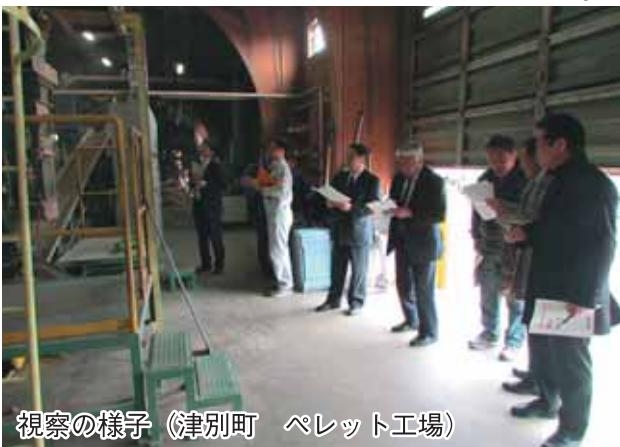
②経済面の検証

域内のエネルギー関係
資金が域外に流れること
による負の派生効果未提
示、正の経済効果と負の
効果の客観性を高め客観
的・総合的かつ合理的に
判断することが議会
としての使命である。

③固定価格買取制度 （FIT）と木質バ イオマス発電との関 係性

売電価格は20年間
固定だが、他の再生
可能エネルギーと違
い木質バイオマスは
原料価格が変動し原
料価格が上がれば採
算性は悪化する。

総合的に見て「原料価
格の上昇は必至」と見る
のが現実的である。売電
価格が固定ゆえ採算性を
維持するために原料価格
の上昇分を売熱価格の引
き上げで補うならば、下
川町にとって正の経済効
果は減少することとなり、
採算性の度合いでは熱電
事業者の撤退もあり得る。
その場合の負の経済効果
の明示、検証が必要であ
る。



視察の様子（津別町 ペレット工場）